

今回もOSBEELS（オレゴン州試験ボード）のウェブサイトに掲載されている、Examinations & Qualifications Committee（試験資格審査委員会）の議題・議事から気になるトピックをお知らせします。今回は2012年4月13日議事録が対象となります。

- 最近のNational Council of Examiners for Engineering and Surveying (NCEES) 教育基準の変更により、各州のボードが、個人の教育記録をNCEES基準と比較した資料を閲覧するかどうか、当該ボードが決定できるようになった。
- NCEES は American Council of Engineering Companies (ACEC) との Registered Continuing Education Program (RCEP、登録継続教育プログラム) に関する提携を解消し、RCEPについては直ちに、全てACECに移管する。これを受けて委員会では、Oregon Administrative Rule (OAR) 820-010-0635(6)(b)を変更すべく、Rules and Regulations (R&R)委員会へ申し送りすることを決定した。
- 820-010-0635 (Continuing Professional Development) (6)(b) は以下のような内容です。
(6) Determination of Credit — The Board has final authority with respect to approval of courses, credit, PDH units for courses and other methods of earning credit.
(中略) (b) The Board will approve PDH units obtained by a registrant from the list provided by NCEES Registered Continuing Education Providers Program.
また、この規則は以下のウェブサイトで参照できます。
https://sos.oregon.gov/archives/pages/default.aspx?utm_source=SOS&utm_medium=egov_redirect&utm_campaign=http%3A//arcweb.sos.state.or.us
- American National Standards Institute (ANSI)がNCEESの作成したModel Law Structural Engineer (MLSE)を承認した。
Model Law（模範法）とは、全米各州のPEに関する法規を横ぐしにするために制定されたものです。詳しくは以下のサイトを参照下さい。
https://ncees.org/wp-content/uploads/Model_Law_2018.pdf

Comity (他州エンジニア)

- Civil engineer PE試験のある科目について不足している（過去の州試験に含まれなかった？）考慮して欲しいと要望。25年以上のcivil engineering経験とそれを証明する5通のリファレンスを提出。Wisconsin州のNCEES FEとPE試験（両方を合わせたもの）合格証明を合わせて提出
⇒ Comity許可
- Electrical engineer 1976年の学位証明、同年のPennsylvania州のFE試験合格を証明する書類、及び1993年のNCEESのPE試験（Electrical）合格を証明する書類を提出。30年以上の

engineering経験とそれを証明する5通のリファレンスを提出 当該申請者が合格した試験に関する Pennsylvania州発行の文書を合せて提出

⇒ Comity許可。

- Structural engineer 委員会にStructural Engineering (SE) 試験に合格したことを考慮するよう要望書を提出。1992年のcivil engineeringの学位証明、及び1998年のstructural engineeringの修士号証明を合せて提出 1992年にNCEESのFE試験、2009年にSE IとSE IIの試験に合格したことを示すConnecticut州の証明、SE科目で、1996年にNCEESのPE試験に合格したことを示すVirginia州の証明、及びSEとして現在登録されていることを示すHawaii州の証明を提出。12年以上のengineering経験とそれを証明する5通のリファレンスを提出
⇒ Comity不許可 (civilのPEとしては以前に許可されている)。(残念でした…)
- Structural engineer 1987年のcivil engineeringの学位証明、及び1989年のcivil engineeringの修士号証明を提出。1988年のNCEESのFE試験合格を証明する書類、及び1992年のNCEESのPE試験、及び1994年の西部州のStructural試験に合格したことを証明するWashington州の書類を提出。20年以上のengineering経験とそれを証明する5通のリファレンスを提出
⇒ structural engineerとしてはComity不許可、civilとしては許可。
- Fire protection及びmechanical engineer Arizona州のボードから、プロジェクト納期に間に合わせるために、不完全な設計のセットにサイン及び押印し、その設計に「Preliminary and/or not for construction and/or not for recording」の押印をしなかった、との懲罰を受けたことがある。また、Nevada州のボードから、Arizona州とその懲罰措置につき相互に対処する、という合意書が発行されている ⇒ Comity不許可。
- Civil engineer Idaho州ボードに、家庭用水処理装置の建設開始につき、郡の建設許可を取得・利用する計画を、環境品質局に明確に伝えていなかったとして懲罰措置を取られたことがある。
⇒ Oregon州で懸念があるようなレベルの懲罰措置ではないとして、Comity許可。
- Civil engineer 1978年のcivil engineeringの応用科学準学士証明、1980年のcivil engineeringの学位証明を提出。1980年のNCEESのFE試験合格、及び1985年のNCEESのPE試験合格を証明するMissouri州の書類を提出 12年以上のengineering経験とそれを証明する5通のリファレンスを提出。当該申請者が合格した試験に関するPennsylvania州発行の文書を合せて提出
⇒ Comity許可。
- Civil engineer Professional engineerのライセンスが失効したのちに、professional engineerとしてのサービスを提供したとして、Nevada州ボードから懲罰措置が取られたことがある
⇒ Comity不許可。
- Civil engineer South Africaのcivil engineeringの学位証明を提出。数学と基礎科学で23単位、人文社会科学で13単位の不足 2009年のNCEESのFE試験合格を証明するCalifornia州の書類、及び2011年のNCEESのPE試験合格を証明するWashington州の書類を提出。8年以上のengineering経験とそれを証明する5通のリファレンスを提出。
⇒ Comity不許可、但し数学及び基礎科学の不足している23単位を取得するか、或いはあと4年間のエンジニアリング経験を積むことにより、civil engineerとして登録される可能性がある。

- Mechanical engineer 2004年にNCEESから受けた、米国外で取得したmechanical engineering学位の公式評価を提出。数学及び基礎科学で5単位不足 2009年のNCEESのFE試験合格、及び2010年のNCEESのPE試験合格を証明する書類を提出。7年10ヶ月のengineering経験とそれを証明する5通のリファレンスを提出
⇒ Comity許可

特に、**過去に懲罰措置を受けているエンジニアは苦勞しているようです**。くれぐれも、懲罰に相当するような行為に手を染めないよう、注意してください。

なお、Oregon州PE/PLS規則（OAR 820）のウェブサイトが、しばらくの間見られない状態となっていたのですが、現状では再び閲覧可能になっております。

http://arcweb.sos.state.or.us/pages/rules/oars_800/oar_820/820_tofc.html

以前から変更になっている箇所もあります。例えば、820-020-0204 の「P E 試験合格後xx年以内に登録完了」のxxの部分は従来の2年から5年が変わっています。

今後、これらの変更が、オレゴン州登録が再び日本人にもオープンになる傾向を示しているのか、推移を見守っていきたいと思います。